

いゅうがく館だより

令和4年4月号



図書室では、毎月さまざまな本を入れており、郷土資料も収集しています。調べ物から生活に役立つ本、物語までお気軽にご利用ください。

りゅうがく館では、3月20日(日)令和3年度生涯学習講座合同閉講式を行いました。

また、4月9日～17日にかけて、りゅうがく館講堂にて西郷隆文氏による陶芸展を開催。初日にはオープニングセレモニー、10日には講演会も行われ、多くの方が訪れました。



おしらせ

2階文化財展示室「島ミュージアム」は4月から入場料が必要となります。

一般… 300円
小中学生… 100円



～ 新着図書案内 ～

《一般書》

- 『ディス・イズ・ザ・デイ』(津村 記久子/朝日新聞出版)
- 『すばらしきアカデミックワールド』(越智 啓太/北大路書房)
- 『北欧とゲルマンの神話事典』(クロード・ルクトゥ/原書房)
- 『ヨックモックの贈るクッキーレシピ』(ヨックモック/世界文化ブックス)
- 『黒牢城』(米澤 穂信/KADOKAWA)
- 『シルクロード全史 上・下』(ピーター・フランコパン/河出書房新社)
- 『異なる人と「対話」する』(野村 浩子/日経 BP 日本経済新聞出版本部)
- 『農業消滅』(鈴木 宣弘/平凡社)
- 『プロジェクト・ヘイル・メアリー』(アンディ・ウィアー/早川書房)

他

《児童書》

- 『おたすけびと』(なかがわ ちひろ/徳間書店)
- 『ファール先生の昆虫教室』(奥本 大三郎/ポプラ社)
- 『都会のトム&ソーヤ 18』(はやみね かおる/講談社)
- 『きせつと行事を楽しむずかん』(長谷川 康男/岩崎書店)
- 『未来のきみを変える読書術』(苫野 一徳/筑摩書房)
- 『10代で知っておきたい「同意」の話』(ジャスティン・ハンコック/河出書房新社)
- 『博物館のバックヤードを探検しよう!』(DK社/河出書房新社)
- 『一ノ瀬ユウナが浮いている』(乙一/集英社)
- 『コミック版 世界の伝記 1～10』(前島 正裕(他)/ポプラ社)

他

今月のおすすめ本

《一般書》

- 『ブラックボックス』(砂川 文次/講談社)
ずっと遠くに行きたかった。今も行きたいと思っている。自分の中の怒りの爆発を、なぜ止められないのだろう。自転車のメッセンジャー、サクマは都内を今日もひた走る。
- 『アロマ&ハーブ大事典』(林 真一郎/新星出版社)
精油の概論から、トリートメント、スキンケア、ハーブの使い方までアロマセラピーとハーブの知識を、使いやすくまとめました。基礎から歴史、栽培方法も解説しています。

《児童書》

- 『卒業 桜舞う春に、また君と』(汐見夏衛(他)/スタート出版)
桜舞う春、出会いと別れの季節を舞台に4人の作家がお話を寄せました。卒業式、自分の居場所、亡くなった恋人、自分宛ではないラブレター。様々な登場人物たちが葛藤し、成長していきます。
- 『おこりたくなったらやってみて!』(オーレリー・シアン・ショウ・シーヌ/主婦の友社)
おこりたくなったら、しんこきゅう。子どもが自分自身でネガティブな感情を笑顔にかえられるように!

